

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

石川さんは、新美南吉の「空気ポンプ」を読み、心に残った場面を、読書集会でしようかいすることにしました。次は、【物語の一部】です。

【この場面までのあらすじ】

自転車のパンク直しをしてみたいと思っていた正九郎は、自転車屋の店主が来るすのときに、友だちの加平といっしょに店番をするチャンスをつかんだ。ふたりでお客さんが来るのを待っていたが、だれも来ず、たいくつしていた。

【物語の一部】

とうとう目的物はやってきた。それは洋服を着て皮のかばんを持ったどこかのおじさんであった。彼はパンクした自転車を日よけの下に立てておいて、汗をふきながら店に入ってきた。

「おい、坊！ 家の者いないか。」

おじさんは、ふたりを自転車屋の子とまちがえたのである。こいつはふたりにとってちようどよいのである。

「ンにや。ンでもおれたちだつて直せる。」と加平がいった。

なお よいことに、おじさんはくたびれていたと見え、ふたりに自転車をまかせたきり、上がりがまちにあおむけにねころんで目をとじてしまったのである。だれにも見られていない方が仕事はしやすいし、またそれだけ楽しめる。ひとりで食べる方がごちそうがうまいのと同じことである。

ふたりはわくわくして、パンク直しに取りかかった。まったくゆめのような気持ちだ。自転車を直したことの無い人には、とてもわからないだろう。タイヤをはずして、チューブに空気を入れて、赤ん坊のうでのようにやわらかくふくれたチューブを水にくぐらせて穴の場所をさがす。プクプクプクと小さいあわの出るところが見つかる。これだ！ よく切れる長いはさみで、つぎにあてるゴムをジョッキョキと切る。はじめはカードのように四角にきって、次に角をまるくする。それから人さし指をゴムのりの かんの中につっこんで、どろりとした よいにおいのするやつをつぎのゴムとチューブの穴のある個所にぬらぬらとぬる。ああ、こんな気持ちのよいことがまたとあるものではない！

※1 上がりがまちⅡげんかんにある、横にわたした木。「あがりかまち」とも言う。

※2 つぎⅡ穴の開いたところにつけて直すもの。

— 石川さんは、【物語の一部】の中の の部分を音読したあと、この場面の魅力を【しょうかい】することになりました。

【しょうかい】



ぼくがこの場面をしょうかいしたいと思ったのは、パンク直しができることへの二人の①②が伝わってきたからです。

この場面では、パンクを直す手順がとてもくわしく書かれています。パンクを直したことがないぼくでも、どうやって直すのかが分かります。

くわしいだけではなく、表現も工夫しています。」②「気持ち」という表現は、「現実とは思えない」という意味を表しています。

また、「赤ん坊のうでのように」という表現は、赤ちゃんのうでをさわったことなくても、チューブがとてもやわらかいということが自然に伝わってくると思えます。思わず、さわってみたいと思わせる表現です。

さらに、「プクプクプク」「ジヨキジヨキ」「どろり」「ぬらぬら」という言葉は、③を表現しています。読む人が本当にその場において、自転車のパンク直しを体験しているように感じられます。

(1) 【しょうかい】の中の①に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア いかり イ こうぶん ウ あきらめ エ かなしみ

(2) 【しょうかい】の中の②に当てはまる内ようを、【物語の一部】の中から六文字でぬき出して書きましよう。

(3) 【しょうかい】の中の③に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 音や様子 イ 風景や行動 ウ 動きや気持ち エ 場面やリズム

二 石川さんは、【物語の一部】の中の——線部「これだ！」という言葉に注目し、そのときの気持ちを考えてくわしく書くことにしました。次の【読書カード】の（ ① ）には五文字、（ ② ）には四文字の言葉がそれぞれ当てはまります。【物語の一部】の中からさがして書きましよう。

【読書カード】

正九郎はそのとき…

※ リムからタイヤをはずして、中に入っているチューブをひっぱり出した。ふう、ここまではうまくいった。

チューブに空気を入れてみた。ふくらんだチューブは、なんてやわらかいんだろう。

さあ、水にくぐらせてみよう。

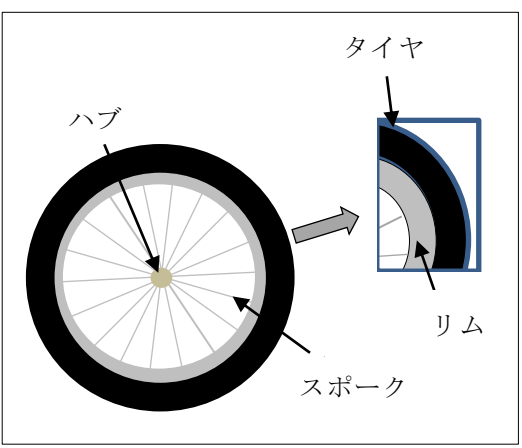
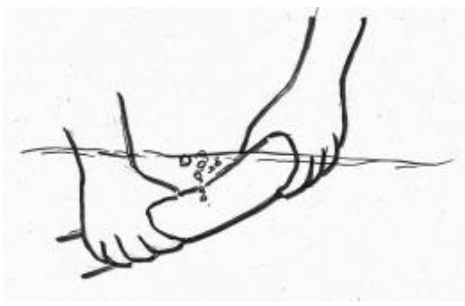
出た。（ ① ）が出てきた。

「これだ！」

ぼくは、（ ② ）をさがし当てたうれしさに、

思わずさげんだ。

※ リム…自転車の車輪しゃりんに使つかわれている金ぞくの部分のこと。



1 国語おう用力強化シート かい答用紙

番号前 (

)

一

(1)

(2)

(3)

二

①

②

シート1

正答例^{れい}

一 (1) イ

一 (2) ゆめのような

一 (3) ア

二 ① 小さいあわ

二 ② 穴の場所

2 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

大田さんは、二〇二〇年に行われる東京オリンピック・パラリンピックについて調べたことを発表しました。次は、大田さんが読んだ【ほうこく文】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【ほうこく文】

「やさしい日本語」

1 「やさしい日本語」とは

日本語になれていない外国人にとっても、わかりやすいようにした、かんたんな日本語のことです。

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックでは、多くの外国人が日本に来るので、「やさしい日本語」は、今、注目をあびています。

2 たん生のきっかけ

一九九五年に起きた阪神・淡路大震災では、たくさんの人がひがいを受けてきました。ひがいの大きかった神戸市周辺には、多くの外国人が住んでいました。その中には、テレビやラジオから流れてくる日本語がむずかしく、ひなんなどに必要なじょうほうを受け取ることができなかつた人たちがいました。そこで、外国人にとって理かいがむずかしい日本語を、わかりやすいように表げんを変えようという動きが起りました。

3 「やさしい日本語」にするために必要なこと

日本語を「やさしい日本語」にするために必要なことをいくつか説明します。まず、たくさんのじょうほうの中から、本当に必要なことだけを伝えるようにするとよいと思います。また、大切なことを文や文章の最初に書くこともわかりやすくするポイントです。一つの文を短くする、むずかしい言葉をかんだんな言葉にする、漢字にはよみがなをつけるということも、「やさしい日本語」にすることになります。さらに、必要ならば、しゃしんやイラストをいっしょにつけることも効果的です。

4 おわりに

「やさしい日本語」に正しい答えというものはありません。どのようになれば、相手がわかりやすいだろうかと思いやる気持ちだが、何よりも大切です。

一 大田さんは、「やさしい日本語」が使われるようになったわけを知りたいと思っています。【ほうこく文】の中の、どのまとまりを読むとよいでしょうか。1から4までのまとまりの中から一つ選んで、その数字を書きましょう。

二 大田さんは、ローマ字が「やさしい日本語」の一つだと考えました。「えひめ」をローマ字で正しく書いたものを、次のアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

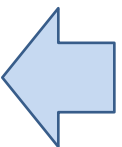
ア
Ehime
イ
Ehimme
ウ
Ahime
エ
Aihime

三 大田さんは、次の【案内文】を【やさしい日本語】に直してみました。【案内文】の中の——線部①「こう車します」と、——線部②「ほど」を言いかえた言葉を【やさしい日本語】の中からさがして、それぞれ書きましょう。

【案内文】

東京オリンピックピック・パラリンピックの水泳会場へは、成田空港で〇〇線に乗り、東京駅で①こう車します。次に、△△線に乗り、潮見駅でこう車し、案内図にしたがって南の方角に徒歩で十五分②ほど進むと、とう着します。

【やさしい日本語】



水泳を見に行くには？

- ・ 成田空港の駅で、〇〇線の「東京駅」に行く電車に乗ります。
- ・ 「東京駅」でおります。
- ・ △△線の電車に乗って、「潮見駅」でおります。
- ・ 駅を出て、南に十五分くらい歩きます。
- ・ 四角い大きな建物がゴールです。



四 大田さんは、【ほうこく文】の中の「3 『やさしい日本語』にするために必要なこと」を、次のようにまとめました。【大田さんのまとめ】の中の（ ）に入る言葉を【ほうこく文】の中からさがして書きましよう。

【大田さんのまとめ】

こうすれば
「やさしい日本語」に！

- 1 たくさんのじょうほうの中から、本当に必要なことだけを伝える
- 2 大切なことを文や文章の最初に書く
- 3 ()
- 4 むずかしい言葉をかんたんな言葉に変える
- 5 漢字にはよみがなをつける
- 6 必要ならば、しゃしんやイラストをいっしょにつける

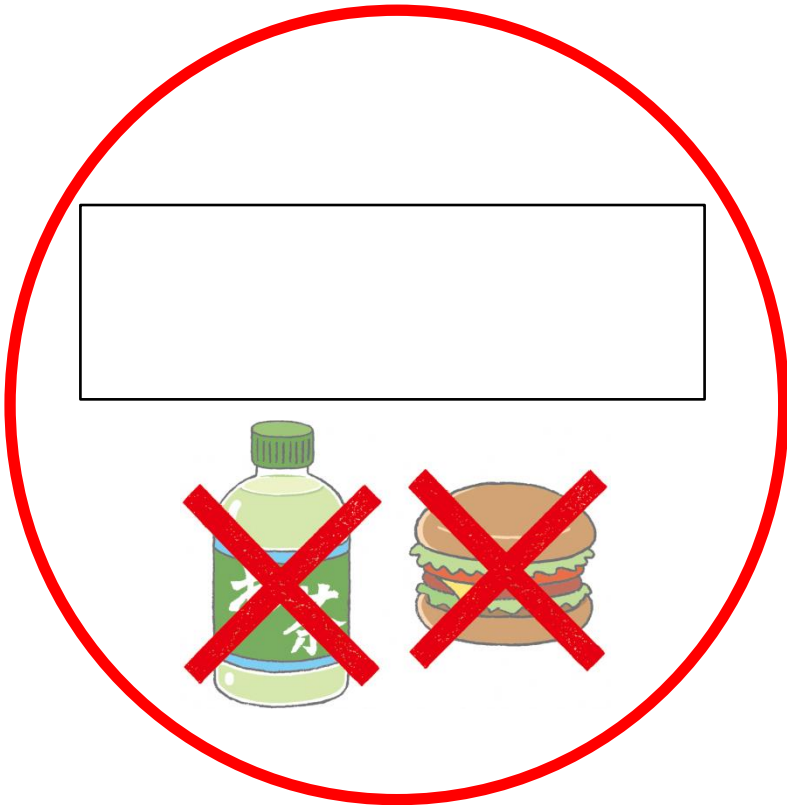


五 大田さんは、地いきの図書館かんで見ると次の【標しき】の「飲食禁止」を「やさしい日本語」に言いかえることにしました。あなたなら、どのように言いかえますか。【言いかえた標しき】の中の に入る言葉を考えて書きましよう。

【言いかえた標しき】



【標しき】



2

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

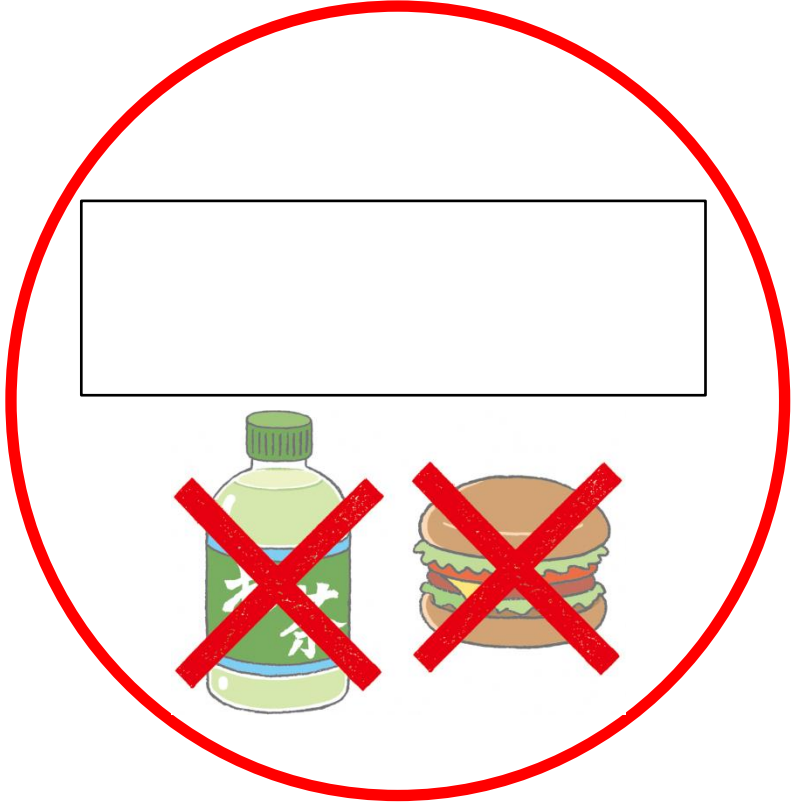
三

①

②

四

五



一 2

二 ア

三 ① おります ② くらい

四 一つの文を短くする

五 例1 ここでは 食^たべたり 飲^のんだりしては だめです

例2 ここでは 食^たべない 飲^のまない

例3 飲^{いん}食^{しよく}しないでください

例4 だめです！ 飲^のむ と 食^たべる

3 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

中田さんたちは、愛媛県えひめけんの魅力みりよくを県外の人にも知ってもらおう方法ほうほうについて考えています。中田さんたちは、六年生が考えた【てい案文】ていあんぶんをもとに話し合いました。次の文つぎを読んで、あとの問いとに答えましよう。

【てい案文】

1 ご当地キャラクター

各地かくいきのキャラクターは、イベント会場かいじやうでいつもたくさんの子どもたちにかこまれています。その中でも、県のイメージアツプキャラクターのみきやんは、ゆるキャラグランプリで上位じやういに入るなど、全国的ぜんこくてきにとても有名ゆうめいです。このみきやんと地いきの特産品さんひんなどを組み合わせたイラストもよく見かけます。その一つが、とべ町にあるとべ動物園どうぶつのシロクマと、犬のみきやんとを組み合わせたキャラクターです。



2 とべ動物園のマスコットキャラクター

とべ動物園で一九九九年に生まれたピースは、人間にんげんが育てる人工じんこうほいくという方法ほうほうで育てられました。それまで、シロクマの人工じんこうほいくは日本で成功せいこうしたことはありませんでした。何もかも初めてはじめてでしたが、ピースはすすくと育ち、とべ動物園の人気者もの人になりました。ピースの成長せいちょうの様子は、絵本えほんにもなっているので、ピースと愛媛県の特産品を組み合わせれば、愛媛県をアピールできると思います。

3 愛媛県の特産品

愛媛県の特産品には、タオル、和紙わし、真じゆまじゆ、ろうそくなどがありますが、食べ物ものを取り上げるのがよいと思います。シロクマとはイメージがちがうものを組み合わせると、みんなのきようみを引くことができると思うからです。

4 新キャラクター「たいピース」

愛媛のたいめしは、二種類しゅるいあります。東予とうよや中予地方では、たいをお米といっしょにたきこみますが、南予では、たいのさしみをごはんに乗のせます。地いきによつてちがう食べ方をするのは、愛媛県全体ぜんたいで魚のたいがとも好このまれているからだと思います。まさに、たいは愛媛県の特産品です。だから、わたしは、ピースとたいを組み合わせたキャラクター「たいピース」を作ることをしてい案します。

【話し合いの一部】

池本さん わたしは、たいめしが二種類あるということを知りませんでした。「たいピース」は、県内に住むわたしたちも、愛媛の特産品のたいについて、くわしく知ろうとする（①）になると思います。

中田さん 実は、たいにもいろいろな種類があると聞いたことがあります。たいと名前がつく魚の中で、②「たいピース」に合うたいはどれなのかをかくにんした方がいいと思います。

花原さん ぼくも、「たいピース」にさんせいします。③キャラクターを作るだけでなく、ピースやたいのしょうかいも付け加えるとよいと思います。

一 【話し合いの一部】の中の（①）に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア ねらい イ 心がけ ウ きっかけ エ やり方

二 【話し合いの一部】の中の——線部②『たいピース』に合うたいはどれなのかをかくにんした方がいいと思います」という意見から、中田さんたちは、六年生にしつ問をすることにしました。そのしつ問の内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 愛媛県でとれるたいは、全部で何種類になりますか。

イ 愛媛県で一番よくとれるたいの名前は何ですか。

ウ 愛媛県でとれる魚の中で、一番おいしい魚は何ですか。

エ 愛媛県で、たいよりもたくさんとれる魚はありますか。

三 次は、【話し合いの一部】の中の——線部③の花原さんの発言を受けて作った【ピースのしょうかいカード】です。（ ）に当てはまる内ようを、【てい案文】の「2 とべ動物園のマスコットキャラクター」の中の言葉を使って、十字以上、二十字以内で書きましょう。

【ピースのしょうかいカード】

シロクマのピースです！

- ・ 一九九九年、とべ動物園で生まれる。
- ・ 日本で初めて（ ）シロクマ。
- ・ すくすく育って、とべ動物園の人気者になる。
- ・ 成長の様子が絵本になる。



3

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

20字 10字

一ウ

二イ

三例1

人間の手で育てられた

例2

人間によって育てられた

例3

人工ほいくという方法で育った

例4

人間が育てる人工ほいくで育てられた

4 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

)

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

学習発表会がくしゅうはっぴょうかいで歌う歌について話し合っている合唱クラブがっしやうの小林さんは、アンケートの結果から、次の【てい案文】を書いていきます。

【てい案文】

学習発表会では、わたしたちの歌を聞いてもらうだけではなく、お年よりのみなさんといっしょに歌いたいと思う。(①)、地いきに住む高れい者たかれいしやの方に、子どものころの思い出の歌をアンケートで②聞き取りました。このアンケート結果をもとに、学習発表会の十五分間で歌う、四曲きよくの歌を決めるのがよいと考え、次の三つの選び方をていあんしたい。

一 【アンケートの結果】の上位四曲じょうい、「春が来た」、「ふるさと」、「もみじ」、「茶つみ」を歌う。

二 【アンケートの結果】の十曲じゆくの季節を見ると、春、夏、秋、冬すべての曲が入っているので、それぞれの季節から一曲ずつ選んで、「春が来た」、「もみじ」、「茶つみ」、「冬げしき」を歌う。

三 【アンケートの結果】の上位三曲じょうい、「春が来た」、「ふるさと」、「もみじ」と、一学期がっくきの【児童アンケートの結果】から、人気の高かった虫が出てくる曲の③「夕やけこやけ」を歌う。

【アンケートの結果】

順位 <small>じゆん</small>	曲名	人数	季節
1位	春が来た	15	春
2位	ふるさと	13	
3位	もみじ	10	秋
4位	茶つみ	4	夏
5位	春の小川	3	春
6位	夕やけこやけ	2	秋
6位	さくらさくら	2	春
8位	うさぎ	1	秋
8位	冬げしき	1	冬
8位	こいのぼり	1	夏

【地いきの方の話】



『ふるさと』の三番の歌詞の最後に、「山は青きふるさと」と「水は清きふるさと」という言葉があつてね。
この部分を歌うと、なつかしい景色だけではなく、かけがえない景色だけではない竹馬たけうまの友の顔をしみじみと思ひ出すんだよ。

一 【てい案文】の中の①に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア つまり イ でも ウ さて エ そこで

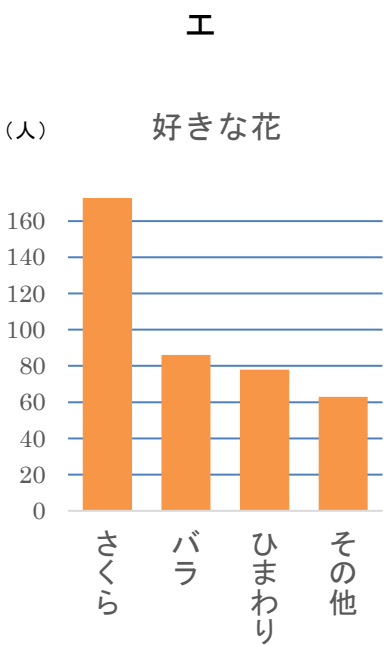
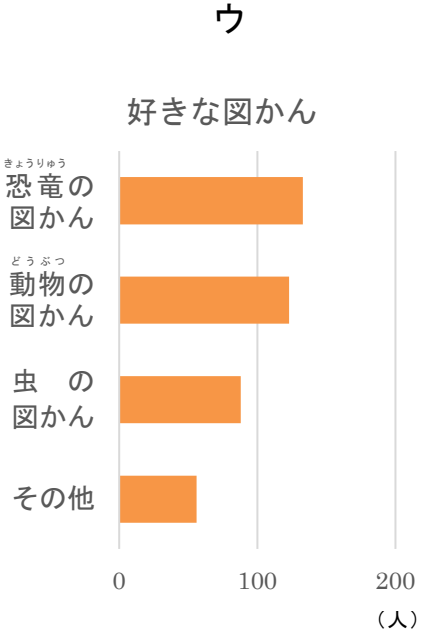
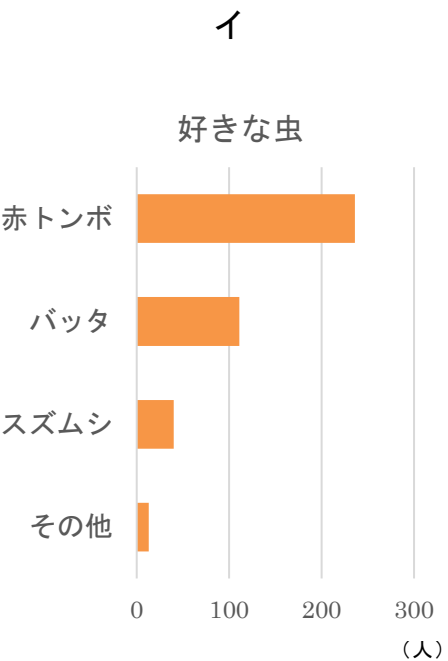
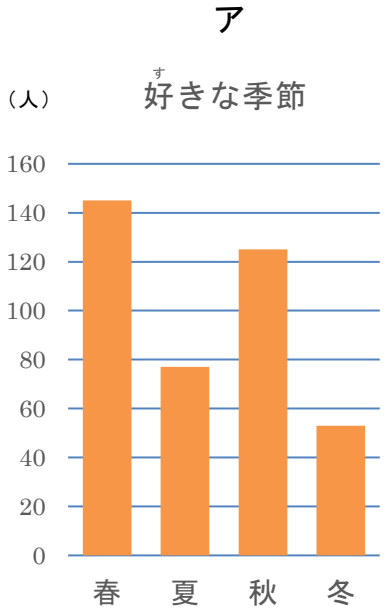
二 小林さんは、【てい案文】の中の——線部②「聞き取りました」について、他の文の終わりとそろっていないことに気づき、書き直すことにしました。どのように書き直せばよいか、考えて書きましよう。

三 小林さんは【地いきの方の話】を聞いた時に、——線部「竹馬の友」の意味が分からなかったため、辞書で調べました。次の二つの（ ）には、同じ言葉が入ります。どんな言葉が入るか考えて、四文字で書きましよう。

ちくばのとも 【竹馬の友】
おさな友達。 （ ）ときに親しかった人。
竹馬に乗っていっしょにあそんだ（ ）ころからの友。

四 小林さんが、【てい案文】の中の——線部③「夕やけこやけ」を選んだ理由となる【児童アンケートの結果】として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

【児童アンケートの結果】



4 国語おう用力強化シート かい答用紙

番号前 (

)

一

二

三

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

四

シート4

正答例^{れい}

一 エ

二 聞き取った

三 例1 ..おさない
例2 ..ちいさい

四 イ

5 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

川田さんは、読書ボランティア「ひまわりクラブ」の方に、読書発表会の案内を出すことにしました。次の【案内文】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【案内文】

読書発表会のご案内

木々の葉が色づいて、①のやまがきれいな季節になりました。
ひまわりクラブのみなさん、わたしたちに本の読み聞かせをして
くださってありがとうございます。わたしたちは、いつも②だのし
みにしています。

今度、十月二十五日(金)の午後一時から、わたしたち三年一組は、読
書発表会をします。③会場は、校しゃの二階にある図書室が場所です。

わたしたちは、朝の十分間で、自分の好きな本を読んできました。その
中から、はんでおすすめの一さつを、紙しばいやげきにして、みなさんに
しようかいいたいと思っています。みんな一生けん命練習しているのだ
ぜひ、発表会に来てください。

十月一日

川田 ほのか

ひまわりクラブのみな様



一 【案内文】を見直した川田さんは、——線部①、②を漢字で書くことにしました。
——線部①、②を漢字に書き直しましょう。

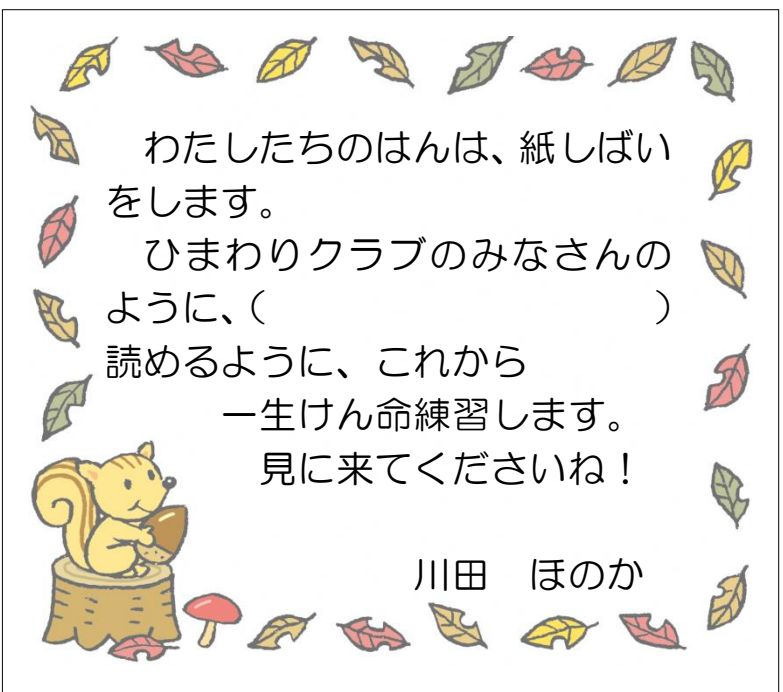
二 ——線部③について、次のようなアドバイスを受けた川田さんは、書き直すこと
にしました。「会場は、」に続くように考えて書きましょう。

この文は、「会場は、く場所です。」となるので、おかしい感じが
します。同じような言葉をくり返して使わないように直したら
よいと思います。



三 次は、川田さんが【案内文】といっしょに送った【カード】と【川田さんの思い】です。【カード】の中の（ ）に当てはまる内ようを、【川田さんの思い】から考えて書きましよう。

【カード】



わたしたちのはんは、紙しばいをします。
ひまわりクラブのみなさんのように、（ ）
読めるように、これから一生けん命練習します。
見に来てくださいね！

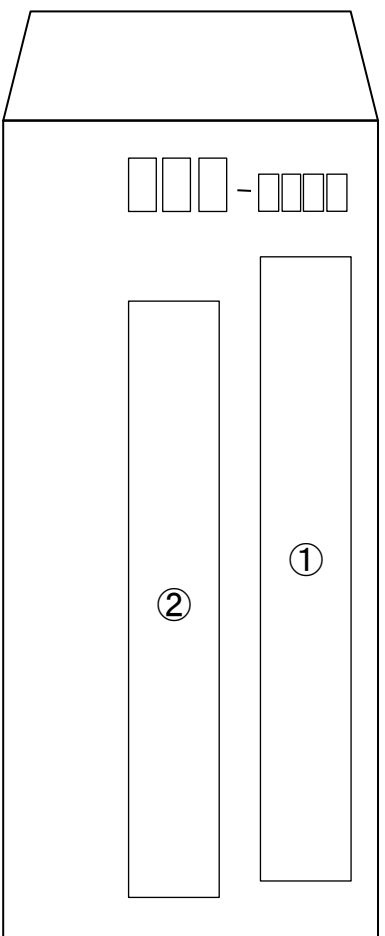
川田 ほのか

【三田さんの思い】

ひまわりクラブのみなさんは、読むはやさを変えながら読んでいたな。それがとてもおもしろかったから、わたしたちもぜひ、やってみたい。



四 川田さんは、案内文をゆう送することにしました。次のふうとうの表書きの中の①、②に書く内ようとして、最もふさわしいものをあとのアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を書きましよう。



ア 自分の住所

イ 相手の住所

ウ 自分の名前

エ 相手の名前

5 国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

①

②

二

会場は、

三

四

①

②

一 ① 野山

一 ② 楽（しみ）

二 例 （会場は、）校しゃの二階にある図書室です。

三 例 1 読むはやさを変えて

例 2 読むはやさを変えながら

四 ① イ

四 ② エ

6 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

高田さんは、地いきのれきしについて調べたことをほうこくします。次の高田さんが書いた【ほうこく文の下書き】を読んで、あとの問いに答えましよう。
【ほうこく文の下書き】

「銀納義民伝」について

1 調べようと思ったきっかけ

新聞に【資料1】の記事がのっているのを見つけてました。これは、中学校で美じゅつ部員だった生徒たちが「銀納義民伝」の紙しばいを作ったという記事です。紙しばいの絵がとても上手でした。そして、この記事をきっかけにして、わたしは、きよう土資料館でもっとくわしく「銀納義民伝」について調べることになりました。

2 銀納について

江戸時代、村でとれたお米のいくらかを、との様に差し出さなければなりません。このお米のことを「年貢」といいます。銀納というのは、お米の代わりに銀を年貢とするという意味です。年貢はお米であるのがふ通でしたが、記事に出ている村は、けわしい山にかこまれて、①お米があまりとれなかったそうです。もちろん、お米が少ないので、作っている村人もお米を食べることができませんでした。

3 しょう屋の工藤治兵衛

村のしょう屋の工藤治兵衛は、お米がとれずにこまっていた村人のために、との様に、お米の代わりに銀で年貢を差し出したいと願いました。しょう屋というのは、村の代表という立場の人です。ただ、この時代、との様に意見をのべるためには、自分の命をかける覚悟が必要でした。それでも治兵衛は、村の代表として、人々のために命をかけてとの様に願い出たのです。しかし、との様は、願いを聞いてくれず、治兵衛は命を落としました。

【資料1】



【資料2】



村人たちは、治兵衛の思いに感^{かん}じやしました。そこで、「命を投^なげ出して人のためにつくした人」という意味の「義民」として、今までずっと、治兵衛のことを伝^{つた}えてきました。新聞にのっていた【資料2】の紙しばいには、多くの子どもたちに、治兵衛のことを知^ちってほしいという願^{ねが}いがこめられています。

4 分かったことや考えたこと

しょう屋の治兵衛は、村人が苦^{くる}しむすがたを見て、とてもつらかったから、代表である自分が何とかみんなを助^{たす}けたいと考えたと思います。わたしは、治兵衛が村人を思いやる気持^{きもち}ちに②感動^{かんどう}しました。

今回、わたしは、地いきに残^{のこ}る話をくわしく調べました。昔^{むかし}は、お米を年貢として差し出していたことを知りました。③また、お米がとれないことで、治兵衛や村の人々がとても苦^{くろ}勞^{らう}したことも知りましたので、地いきに残^{のこ}る話をみんなが知るためにずっと伝^{つた}えていくことは、とても大切だと分かりました。

一 高田さんは、【ほうこく文の下書き】の中の——線部②「感動^{せんだう}しました」について、感動^{あたら}したことをより強く表^{あらわ}すために、「()」を打^うたれました」という言^{こと}葉^ばに書^かきかえることにしました。

() に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選^{えら}んで、その記号^{きごう}を書^かきましよう。

ア 頭

イ 目

ウ

鼻^{はな}

エ 心

二 【ほうこく文の下書き】を読んでいた高田さんは、読み手に伝^{つた}わりやすくするために、——線部③の一文を、次のように二つの文に分けて書^かき直すことにしました。

また、お米がとれないことで、治兵衛や村の人々がとても苦^{くろ}勞^{らう}したことも知りました。()、地いきに残^{のこ}る話をみんなが知るためにずっと伝^{つた}えていくことは、とても大切だと分かりました。

() には、文と文をつなぐ言葉が入ります。() に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選^{えら}んで、その記号^{きごう}を書^かきましよう。

ア すると

イ しかし

ウ ですから

エ しかも

三 【ほうこく文の下書き】の中の——線部①「お米があまりとれなかった」について、高田さんは、友達ともだちから次の感想かんそうをもらいました。

【友達の感想】

どれくらいお米がとれなかったのかが分かる説明せつめいを加えくわると、この地いきの村人たちの苦労がよく分かんと思おもいます。



そこで、高田さんは、きょう土資料館かんちようの館長かんちようさんから聞いた話を思い出して、——線部①の前に説明を加えることにしました。

【館長さんの話】

お米があまりとれない村の人は、本当に苦労したんだよ。自分の口には入らないお米をわざわざ近くの村から買ったたり、買うお金がなければ、借かりたりして年貢をおさめようとしたんだ。苦労する村人たちの様子ようすを見て、自分のことよりも村人のことを考えて行動こうどうした治兵衛は、しょう屋としてのせきになん感があったんだね。



加える説明として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア お米を近所きんじよの人に買ってもらわなければならないほど
- イ お米を作りすぎないようにしなければならないほど
- ウ お米をすべて食べてしまわなければならないほど
- エ お米をよそで買ったたり借りたりしなければならないほど

四 高田さんは、【ほうこく文の下書き】を読み返かえして、次の【メモ】の内ようが書けているかをたしかめました。(A)、(B)に当てはまる言葉として、最もふさわしいものをあとのアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

【メモ】

- 「銀納義民伝」について、次の二つを分かりやすく説明する。
- ・なぜ、年貢はお米でなく(A)だったのか
- ・なぜ、しょう屋の治兵衛が(B)とよばれているか

ア 銀 イ 紙 ウ 義民 エ 代表

6

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

四

A

B

シート6

正答例_{れい}

一
エ

二
ウ

三
エ

四A
ア

四B
ウ

7 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

山本さんは、次の【物語の一部】を読んで、朝ごはんの大切さについて考えたことを発表することになりました。

【物語の一部】

「ゆき、朝ごはんできてるよ。」

今朝も、つよしの声とおいしそうなにおいが、ゆきにとっては①目ざまし時計代わりだった。いつものようにパジャマすがたでリビングに出ていくと、つよしは自分のおべん当を青いハンカチで包んでいるところだった。

テーブルの上には、ベーコンエッグののった皿とコップが用意されている。ゆきは、トースターに食パンを一まい入れて焼き始め、冷ぞう庫から牛にゆうのパックを取り出した。

ゆきの家では、仕事で朝が早い母に代わって、高校生になった兄のつよしが朝ごはんのしたくをしている。つよしは、短い時間ではぱっと料理するのがとく意だ。夜、次の朝の材料を切り分けて冷ぞう庫にしまうと、ときどきゆきは見かける。

「ちゃんと②タンパクしつをとって。」

それが母の口ぐせなので、つよしはよく、たまご料理を作る。今朝は、おいしそうなベーコンエッグ。そのとなりに、野菜サラダがついている。

ゆきは、目玉焼きをほおぼりながら、親友のみさ子のことを思い出していた。実は、みさ子は、いつも朝ごはんを食べずに登校している。ゆきが、朝ごはんを食べないわけを聞くと、

「朝起きるのがおそいから……。」
と答える。

「本当は、朝ごはんを食べたいんですけど。」
と聞くと、みさ子は、だまってうなずくのだった。

先週、学校でアンケート調査があった。このとき、ゆきは、みさ子と同じように朝ごはんを食べずに登校している子が何人もいることを知った。学校からは、いつも『朝ごはんをきちんと食べて登校しましょう』という内ようのおたよりがくる。ゆきは、つぶれた黄身をスプーンですくいながら、朝ごはんをちゃんと食べて学校に行けるのはありがたいなど、しみじみ思うのだった。

みさ子は、元気で、何にでも一生けん命な女の子だ。そういうみさ子のことをゆきは本当にすてきだと思っている。ただ、ときどき、何だかちよつと元気がないと

きがあって心配になる。そのたびに、ゆきは、もし、③毎日みさ子朝ごはんを食べていたとしたら……と考えてしまう。

ゆきは、家族にみさ子のことを相談した。すると、しばらくだまっていた母が、

「ゆきとみさ子ちゃん、簡単な料理を覚えたら。」
と言った。すかさず、料理好きのつよしが、

「それはいい。自分で料理ができるようになれば、栄養のことも考えるし、食べることの大切さも分かるんじゃないの。」
と言った。

こうして、つよしが先生となつて、みさ子とゆきに、簡単な料理の作り方を教えることが決まった。

「第一回は、おみそしるにちょう戦することにしよう。」
うで組みをしながら話すつよしの顔は、とく意気だった。

次の日、ゆきはさっそくみさ子にこのことを話した。話を聞いたみさ子は、満面の笑みで、ゆきの手をにぎってきた。

一 【物語の一部】の中の——線部③「毎日みさ子朝ごはんを食べていたとしたら……」について、「みさ子」のあとに入れる一文字として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア に イ を ウ が エ で

二 山本さんは、【物語の一部】の中の——線部①「目ざまし時計代わりだった」について、次のように発表しようと思っっています。次の文の（ ）に当てはまる内よを、【物語の一部】の中から九文字でさがして書きましょう。

みさ子にとっては、兄の声だけではなく、朝ごはんの（ ）が、朝が来たことを知らせてくれるものになっているんだなと感じました。



三 山本さんは、みさ子の朝ごはんについての思いを発表に取り上げるため、次のようにまとめました。（ ）に当てはまる内よを、【物語の一部】の中からさがして、十字以上、十五字以内で書きましょう。

ゆきに朝ごはんのことについて聞かれたときの、みさ子がだまってうなずく様子や、料理を教えてもらえることをゆきから聞いて、満面の笑みになったという様子から、みさ子は、（ ）と思っっているということが、よく伝わってきます。



四 次は、山本さんが学校の図書館で見つけた本の目次です。【物語の一部】の中の——線部②の「タンパクしつ」について調べるとき、どのページを開くとよいでしょうか。最もふさわしいものを目次のアからオまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

五大栄養素のすべて 目次



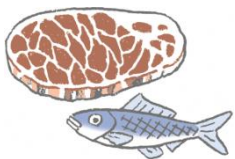
ア 体のエネルギーになる 炭水化物
(米・パン・いも など) …… p 2

イ 体を作る・体のエネルギーになる タンパク質
(肉・魚・卵 など) …… p 18

ウ 体のエネルギーになる 脂質
(油・バター など) …… p 34

エ 体の調子を整える ビタミン
(野菜・果物 など) …… p 40

オ 体の調子を整える 無機質
(牛乳・海そう など) …… p 62



7 国語おうち用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

15字

10字

四

シート7

正答例^{れい}

一 ウ

二 おいしそうなおい

三 本当は、朝ごはんを食べたい

四 イ

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

学級新聞の「みんなで読みたい！この一さつ」というコーナーに記事を書くことになった山本さんと小谷さんは、小川未明の『笛と人の物語』を読んで、感じたことを話し合いました。次の【物語の一部】と【話し合い】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【この場面までのあらすじ】

ブリキ屋のわか者は、あめ売りのおじいさんがふくチャルメラの音を聞きたびに、まだ行ったことのない、チャルメラが生まれた外国を思いうかべ、あこがれをもっていました。しかし、しだいにチャルメラの音が聞こえなくなってしまったのです。

【物語の一部】

正直なブリキ屋のわか者は、それでも、あめ売りのおじいさんが笛をふいて来るのを、毎日のように待っていました。その笛の音が大好きだったからです。そのうちに、おじいさんは来なくなりました。

「どうしたのだろう？」と、毎日のように待っていましたが、それは、むだに終わりました。そのはずで、おじいさんは死んでしまったのであります。

おじいさんが大事にして、日ごろふいていたチャルメラは、古道具屋の店にむき出しに置かれました。もともとが、そまつな笛でありましたから、人目にもつかずに、いく年もそこに、ほこりのかかったまま投げ出されていました。

しかし、また、物好きな人がありました。あるとき、それを取り上げてみて、「これは、昔、外国から来た笛だな。」と言って、買いました。

その人は、別に、笛にしゅ味をもったものではありません。ただ、めずらしい品を集めるといっただけでした。だから、もうそのチャルメラが、具合が悪くなって、よい音を出さなかったけれど、それを苦にもしなれば、それを持っているばかりで満足しました。

※1 ブリキ屋：金ぞくの板を加工する仕事。

※2 チャルメラ：ラツパの形をした楽器。笛。



だから、おじいさんが死んでから、チャルメラもまた、日かげにうずもれてしまったわけです。しかし、この物好きな人は、幸いに、あきつばい人でありました。ある日、手もとにあった、いろいろな古物を売りはらったときに、このチャルメラもいっしょに手放してしまいました。

それから、これが、笛の分かる人の手にわたるまでに、また、いく年かかったことでしょう。

「昔から、あめ売りの笛はチャルメラに決まっている。この笛を直して、上手にふいて、あめを売って、町を歩いたら、よく売れることだろう。」

なにか、いい仕事が見つからないものかと、さがしている男は、この笛を見たときにそう思いました。そして、男は、笛を買い求めると、上手にふけるようになるうと練習しました。なんでも熱心になれば、うまくいかないことはありません。だから、教わるということもなく、昔、港で外国人が空を見上げながらふいたように、また、あのあめ売りのおじいさんが鳴らしたように、男は、悲しい、いい音色を出すことができるようになりました。

ここで、昔のチャルメラは、ふたたび①わかいあめ売りにふかれて、毎日いい音をただよわしながら、町から村へと歩いて、多くの子どもらをやび集めていたのです。

このときは、ブリキ屋のわか者は、もうおじいさんになっていました。そして、日のあたるえん側に出て、だんだん春になってゆくのかな空をながめて、遠く聞こえるチャルメラの音に、昔のことを思い出していました。すると、何もかもはつきりと、まだ昨日のことのように目にうつって、②なつかしい気持ちですが、あとからあとから、わいてきたのであります。



一 【物語の一部】の中の——線部①「わかいあめ売り」と同じ人物として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア ブリキ屋のわか者
- イ あめ売りのおじいさん
- ウ 物好きな人
- エ 笛の分かる人

二 山本さんたちは、【物語の一部】の中の——線部②「なつかしい気持ち」について、次のように【話し合い】をしました。

【話し合い】

小谷さん 「なつかしい気持ち」のところで、おじいさんになったブリキ屋のわが者は、「どんなことを」なつかしく思っているのでしょうか。

山本さん ブリキ屋のわが者は（③）でいた外国に本当に行ったのだと思います。きっと、外国でのいい思い出がたくさんあって、その思い出が、「いい音」がただよってきたことをきっかけにして、「あとからあとから」わいてきているのではないでしょうか。

小谷さん 山本さんは、「いい音」、「あとからあとから」に注目したのですね。わたしは、外国に（③）でいたころのことを思い出していると思います。それは、チャルメラの「（④）」を聞いて思い出したことだから、外国に本当に行ったような楽しいことだけではなく、「悲しい」ことやつらいことも入った思い出だと思うからです。

山本さん 同じ物語を読んでも、いろいろな考え方ができるのはおもしろいですね。ほかの人たちはどう考えるのかも聞いてみたいです。

(1) 【話し合い】の中の二つの（③）に当てはまる同じ言葉を、【この場面までのあらすじ】の中から四文字でさがして書きましょう。

(2) 【話し合い】の中の（④）に当てはまる内ようを、【物語の一部】の中の□から八文字でさがして書きましょう。なお、読点（、）も文字数にふくみません。

(3) 山本さんと小谷さんは、二人の考え方について、同じグループで【話し合い】をした人に意見を聞きました。次の【意見】の中の二つの（⑤）に当てはまる同じ言葉を、【話し合い】の中から漢字二文字でさがして書きましょう。

【意見】



小谷さんは、ブリキ屋のわが者が（⑤）に本当に行ったことがあるのではないかと理由を付けて想ぞうしているように、二人とも、（⑤）と、同じキーワードに目をつけて考えているのがおもしろいと思います。

9

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番号前（

）

一

二

(1)

(2)

(3)

シート9

正答例^{れい}

一
エ

二
(1) あこがれ

二
(2) 悲しい、いい音色

二
(3) 外国

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

谷川さんたちは、総合的な学習の時間に自然とともに生きることについて調べて発表するために、学校の図書館で次の【文章】を見つけて読みました。

【文章】

「母なる森」とよばれる白神山地のブナ林では、ゆたかな自然かんきょうの中で、たくさん種類の生き物が生活しています。動物や植物、び生物など、すべての生き物にとって住みやすいかんきょうになっているのは、そこに住む生き物たちが、おたがいにもうまくバランスをとって生活しているからです。例えば、動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にありますが、動物たちは、それらの食べ物を全部食べてしまうことはしません。

この地いきに住む人たちも、そのことをよく知っているので、山菜をとりに行っても、見つけたものを全部とるようなことはしません。例えば、山菜の一つであるゼンマイは、次の年にもとれるように、何本か残しておきます。マイタケも、一度とると、次の年は同じところではとりません。このように、ブナ林の自然のめぐみは大切に利用されています。



【ゼンマイ】

また、熱帯の森に住んで、動物や植物をとっている人たちも、同じような考え方で生活しています。例えば、大きなえ物がとれたときは、それを食べきるまで、かりには行きません。また、とった食べ物は、みんなで分け合い、むだにしないで全部利用します。

白神山地にしても、熱帯の森にしても、人間をふくめた、さまざまな生き物がつながっている自然の中では、ある生き物だけが急にふえたりへったりすると、おたがいのバランスがくずれることがあります。一度くずれたバランスは、なかなか元にはもどりません。そうならないように、自然とともに生きることが、わたしたち人間の生活を守るためにも大切なことなのです。

一 谷川さんは、発表するとき、【文章】の中の——線部「動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にあります」の中の「ほう富に」という言葉を分かりやすく言いかえることにしました。言いかえる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 少し イ わずかに ウ たくさん エ ほどよく

二 谷川さんは、【文章】を読んで分かった内ようをまとめています。その内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 白神山地には山菜がたくさんはえるので、この地いきに住む人たちは、山菜を全部とって食べている。

イ 熱帯の森にすむ人は、とった食べ物を食べ切ったり、みんなと分け合ったりして全部利用している。

ウ ある生き物だけが急にふえたとしても、自然の中でのおたがいのバランスがくずれることはない。

エ 自然のバランスを考えることも必要だが、人間の生活を守ることを一番に考えていくことが大切である。

三 谷川さんは、【文章】の内よう以外の例を学校の図書館でさがしたところ、次の文章を見つけました。そこで分かったことを発表しようと思つています。あとの【発表】の中の(①)、(②)に当てはまる言葉を、【文章】と【世界のくらし図かん】の中から、それぞれ四文字でさがして書きましょう。

【世界のくらし図かん】

イヌイット

イヌイットは、カナダなどの地球で最も寒い地いきで生活を続けてきた。農作物がほとんど育たないきびしいかんきょうのため、アザラシやトナカイなどを求めて、グループで動しながら、雪で作った家やテントで生活する。

アザラシがとれば、肉は食料に、毛皮は服やくつに、油はねん料に、ほねは道具にするなど、むだにすることはいっさいしない。

しかし、最近のイヌイットは、都市の近くに住む人がふえてきた。スーパーで食料を買うこともある。



【イヌイット】

【発表】

食べ物になる農作物がほとんど育たないという、とても（①）自然の中で生きてきたイヌイットも、ほんたい反対に、白神山地のような（②）自然の中で生きる生き物たちやこの地いきに住む人たちも、熱帯の森に住む人たちも、みんな、自然のめぐみをむだにせず、大切に利用して、自然とともに生きていることが分かりました。



10

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

①

②

ー
ウ

ニ
イ

三
① きびしい

三
② ゆたかな

8 国語おう用力強化シート

番 名前 ()

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

田中さんの学級では、身の回りにある問題を取り上げて、学級新聞にまとめています。田中さんは、高れいドライバーについて調べたことを【ノート】にまとめました。次の【資料】と【ノート】を読んで、あとの問いに答えましよう。

【資料】(※1から7までは、だん落番号を表しています。)

1 最近「高れいドライバー」という言葉をよく耳にします。

愛媛県けい察本部のデータによると、この十年間で、県内の交通事こ全体の数はへつていますが、高れいドライバーによる事このわり合はふえているそうです。【表1】

2 愛媛県で運転めんきよを持つ人は、平成二十九年度で約九十三万人です。そのうち、六十五さい以上の高れいドライバーは約二十四万人です。つまり、全部のドライバーの四人に一人が、高れいドライバーだということです。

3 高れいドライバーには心配されていることがあります。それは、高れいになると、歩行者や対向車の発見がおくれたり、急なはんだんがむずかしくなったりして、大きな事こ、大きなけがにつながりやすいということです。

4 このような事こやけがをへらすため、高れいドライバーに、車に乗ることをやめてもらおうという動きが広がっています。しかし、せつかく持っている運転めんきよを返してくださいとは言いつらいものです。そこで今は、自分から進んで返すという、自主返のうがすすめられています。

5 そうはいつても、ふだんの生活の足として、車を使って病院に行ったり、買い物に行ったりしている高れい者は、運転できなくなると、どこにも出かけられなくなつてしまいます。

年	交通事こ全体の数	高れいドライバーの交通事この数	高れいドライバーのわり合
H28	4,497 件	1,311 件	29.2 %
H29	4,097 件	1,369 件	33.4 %

【表1】



- 6 自分で運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらそうと、愛媛県内の各地いきでは、運転めんきよを自主返のうした人に、さまざまなサービスを行っています。例えば、ある地いきでは、タクシーの利用チケットをおくったり、路線バスに安く乗れるようにしたりしています。また、別の地いきでは、買ったものを家まで配達してくれるサービスも行われています。車で出かけられなくても、重い荷物をとどけてもらえらしたら、高れい者も助かります。
- 7 長い間続けてきた生活を変えるのは、なかなか大変です。運転めんきよを返したことで、高れい者が不便になったと感じるのではなく、反対に、返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと考えることができるように、周りの人が協力してささえていかなくはなりません。

【ノート】

《ぎ問》

- 1 高れいドライバーの何が問題になっているのか。
- 2 なぜ、高れいドライバーは、運転めんきよを返すかどうかまよのか。

《ぎ問に対する答え》【資料】から分かったこと《

- 1 ア 愛媛県内の交通事こ全体の中で、高れいドライバーのわり合がふえていること。
イ 高れいドライバーが起こす事こは、(①) こと。
- 2 運転めんきよを返して車の運転ができなくなると、ふだんの(②) がなくなってしまうから。

《運転めんきよを返のうした高れい者への取り組み》

各地いきが、さまざまなサービスをしている。

(思い) 運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらしたい。

《大切なこと》

高れい者が運転めんきよを返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと思えるように、周りの人が協力してささえる。

一 【ノート】の中の(①)に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 愛媛県内で百万人近くもいる

イ 事こ全体の数と同じで、へってきている

ウ 一年ごとに、ふえたりへつたりしている

エ 大きな事こやけがにつながりやすい

二 【ノート】の中の(②)に当てはまる内ようを【資料】から四文字でさがして書きましょう。

三 田中さんは、「不便」という言葉の意味を国語辞典で調べて、次のことに気づきました。次の(③)に当てはまる漢字二文字を書きましょう。

「不便」とは「便利ではないこと」と国語辞典に出ていました。「不」という漢字は、「くではない」という意味で使われているようです。

「不安」という言葉であれば、「(③)ではない」という意味になると思います。



四 田中さんは、【ノート】の中の□でかこんだ部分の内ようを中心に記事を書くことにしました。そこで、もう一度【資料】を読み返しました。□の内ようについてくわしく書いているだん落を、【資料】の□から□までのだん落の中から一つ選んで、そのだん落番号を書きましょう。



8

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番号前（

）

一

二

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

三

<input type="text"/>
<input type="text"/>

四

シート8

正答例^{れい}

一
エ

二
生活の足

三
安心

四
6